

広報・教育部門

応募事例名

マンホール蓋で地域の魅力を発信！ ～東海道川崎宿の面影～

応募団体名) 川崎市上下水道局

応募事例の概要

下水道マンホール蓋を活用し、東海道川崎宿のPRを図ります

下水道マンホール情報発信プロジェクトとして、川崎区が推進している「東海道川崎宿を活かした地域活性化推進事業」と連携し、東海道川崎宿のPRを図るために、旧東海道沿道にある歩道上の下水道マンホール蓋7箇所を、歌川広重が描いた浮世絵「東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟」をデフォルメしたオリジナルデザインの蓋にしました。

「東海道川崎宿を活かした地域活性化推進事業」 主な街なみ景観整備の取組み

とうかいどうごじゅうさんつぎのうち かわさき ろくごうわたしぶね
東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟



国立国会図書館ウェブサイト転載



トランスボックス



ラッピング
自動販売機



フラッグ



東海道川崎宿の
オリジナル浮世絵マンホール蓋

既存マンホール蓋の
デザイン部を交換



■PRポイント

川崎区が推進している「東海道川崎宿を活かした地域活性化推進事業」の取組みと下水道マンホール蓋が連携することで、川崎区ならではの地域資源を活用した地域への愛着等をはぐくむ魅力あるまちづくり、回遊性による賑わいのあるまちづくりに下水道マンホール蓋が貢献しています。さらに、マンホール蓋のデザイン部は交換可能な仕様となっているため、既存のマンホール蓋を有効活用し、地域の特徴を活かしてイベントなどの様々な状況に合わせた情報発信を行っています。

■具体的効果について

東海道川崎宿のオリジナルマンホールを設置し、東海道川崎宿をより多くの人にPRし、地域住民に対して東海道川崎宿に対する愛着及び注目度を高めるとともに、街歩きなどを目的とした市外の人にも魅力ある川崎を発信しています。また、マンホール蓋のデザインに興味関心を持っていただくことで、情報発信とあわせて、下水道への理解と関心を深めるきっかけになり、下水道のイメージアップに繋がっています。